Workation
ワーケーション

新型コロナウイルス感染症が拡大する中で、柔軟な働き方や暮らし方のニーズが高まっています。市では、関係人口＊1の創出からゆるやかな移住定住を目指すため、人口減少対策の一環としてワーケーション＊2を推進しています。

＊1 関係人口…地域内にルーツがある方や過去に居住または勤務したことがあるなど、地域と多様に関わる人々のこと

＊2 ワーケーション…普段の職場と異なる地域でテレワーク等を行いながら余暇を過ごす取組のこと

富士通グループとの連携

パートナーシップ協定

▶▶▶▶▶▶▶▶▶▶▶▶ 県内初の協定締結

デジタルの知見をもった企業とワーケーションパートナーシップ協定を締結

（写真左から）
富士通株式会社 赤松ワークスタイル戦略室長
米田市長
富士通 Japan 株式会社 佐藤総務人事本部長

市では、6月に富士通株式会社、富士通Japan株式会社とワーケーションパートナーシップ協定を締結しました。ワーケーションを通して、地方創生の実現や地域の課題解決を目指しており、県内初の協定締結となります。市と富士通Japan株式会社は、観光庁の令和３年度「新たな旅のスタイル」促進事業において、防災や自然との共生をテーマとしたワーケーションプログラムの造成などで連携・協力したことがきっかけで、今回の協定締結につながりました。

富士通グループとのワーケーションを推進していきます！

防災ワーケーション

▶▶▶▶▶▶▶▶▶▶▶▶ 6月24日から27日

防災講演会のようす

防災をテーマに、初めてのワーケーションツアーを開催しました。期間中、講演会に加え、市の防災訓練と連携したスマートフォンやデジタル技術を活用した避難所受付システムの実証実験を行いました。

避難所受付システム